学校番号	1207

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『現代文Ａ』（東京書籍）						
副教材等	『漢字ボックス　ノート付き』（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ

・３年生では、国語総合で学んだことをもとに、発展的な国語力を身に付けることをめざします。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・さまざまなジャンルの作品に親しみ、より深い読解をするために、文学史的知識もしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立て、しっかり復習して臨みましょう。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート、プリント等）			・記述の確認及び分析 （ノート、プリント等） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認 （ノート、プリント等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想・評論(Ⅰ)	「さくらさくらさくら」 「『身銭』を切るコミュニケーション」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書等で調べている。 筆者の考えを参考にして、自分の生き方についての思索を深めている。 d:具体例と抽象的な記述との関係を理解している。 e:文中に出てくる常用漢字の音読や書き取りができている。	a:行動の観察と記述の点検 d:記述の確認 及び分析 定期考査 e:行動の確認 記述の確認 定期考査 小テスト
	小説(Ⅰ)	「みどりのゆび」 「真面目な二人」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書等で調べている。 d:登場人物の台詞や行動から、感情と心理を読み取る。 e:比喩表現や擬音語、擬態語などの表現を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察と記述の点検 d、e: 記述の確認 及び分析 定期考査 行動の確認 定期考査 小テスト
	詩歌	「永訣の朝」 「信濃路」 「春雷」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書等で調べている。 作者の他作品を読み、より深い作品理解に努めている。 d:詩にこめられた情景や心情を理解することができる。 e:詩を正しく音読することができる。 作者についての文学史的知識を身につける。	a:行動の観察と記述の点検 d:記述の確認 及び分析 定期考査 e:行動の確認 記述の確認 定期考査 小テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
2学期	随想・評論(二)	「少女たちの『ひろしま』」 「ミロのヴィーナス」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書等で調べている。 筆者の考えを参考に、自らの言語生活を豊かなものにしようとしている。 d:本文中の具体例を通して筆者が何を言おうとしているのかを理解する。 e:本文中の慣用句やことわざの意味を正しく理解している。	a:行動の観察と記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の確認 記述の確認 定期考査 小テスト
	随想・評論(三)	「分からないからおもしろい」 「豊かさと生物多様性」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書等で調べている。 筆者の持つ問題意識を理解し、自己の世界観を深めている。 d:本文中に述べられている具体例の意図を読み取り、筆者の主張を正しく理解している。 e:外来語や評論に特徴的な語句の意味を理解し、適切に使用することができる。	a:行動の観察と記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の確認 記述の確認 定期考査 小テスト
	小説(二)	「ナイン」 「山椒魚」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書等で調べている。 d:登場人物の台詞や行動から、感情と心理を読み取る。 e:作中で用いられている表現技法の効果について理解している。	a:行動の観察と記述の点検 d、e: 記述の確認及び分析 定期考査 行動の確認 定期考査 小テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
3学期	随想・評論(四)	「言葉は世界を切り分ける」 「思考の肺活量」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書等で調べている。 自身のメディアに対する関わり方について思索を深めている。 d:市場原理とメディアの関係についての筆者の主張を正しく理解している。 e:評論に特徴的な語句の意味や用法を正しく理解している。	a:行動の観察と記述の点検 d:記述の確認 及び分析 定期考査 e:行動の確認 記述の確認 定期考査 小テスト
	小説(三)	「山月記」 「蠅」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書等で調べている。 音読して、格調高い文体を味わうことができる。 d:登場人物の台詞や行動から、感情と心理を読み取る。 主人公の変身にこめられた意味を考え、この作品の主題を理解している。 e:作品の歴史的背景や、本文中に用いられている漢語の意味を理解している。 作者についての文学史的知識を身につける。	a:行動の観察と記述の点検 d、e: 記述の確認 及び分析 定期考査 行動の確認 定期考査 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。